

就業体験型 プログラムの 導入にあたって

※旧称：就業体験型インターンシップ



大学コンソーシアム大阪の就業体験型プログラムとは

本プログラムは、主に学生の夏休み期間に行う産官学連携のキャリア教育プログラムであり、下記を目的に実施しています。

- 大阪及び関西圏（兵庫・京都・滋賀・奈良・和歌山・三重）の企業・団体等との連携による、将来大阪・関西で活躍する若者の育成と地元定着支援
- 社会体験と教育研究の融合による、学生の学習意欲の喚起と高い就業意識の育成

対象：大学コンソーシアム大阪の会員大学の学生（全学年／大学院生、併設短期大学生および留学生を含む）を主とする

就業体験型プログラム導入の5つのメリット

企業（団体）での本プログラムの導入にあたり、どのようなメリットがあるかをご紹介します。

メリット 1 社会的イメージの向上に効果的です

就業体験型プログラムには、未来の日本を支える人材を育成するという側面があります。学生の受け入れは社会貢献の一環としての活動と言えることから、社会的イメージの向上につながります。

メリット 2 業界のPRや魅力発信に有効です

実習生が未来の顧客や支援者になるだけでなく、その仲間にも好印象が伝わります。若い世代にその業界の魅力を正しく理解してもらう有効な機会です。

メリット 3 新たな視点や感性に触れることができます

実習を通じて学生の意識や考え方をすることで、自社（団体）のサービス等の改善や新卒採用者の教育の参考になります。

メリット 4 社内の活性化につながります

実習生の指導を通じて、社員（職員）の意識の向上とさらなる成長を促す機会（＝内部教育や組織の活性化）になります。

メリット 5 大学との連携強化が期待できます

大阪府内の様々な大学を会員に擁する大学コンソーシアム大阪を通じて、大学との幅広いパイプを作るきっかけを掴んでください。



スケジュール

時期(目安)	内容
～5月中旬	実習要項の公開(大学コンソーシアム大阪ホームページにて)
5月中旬～下旬	学生出願期間
6月上旬	大学コンソーシアム大阪による学生面接・選考
6月中旬	実習生の決定→受入先に通知(受入先・実習生間で日程等の調整)
6月下旬～7月上旬	事前研修
7月(実習までに)	三者協定締結
8月～9月中旬	実習期間(この間で、実働5日～10日間での実習を実施)
9月下旬～10月上旬	事後研修 ※交流会を兼ねて実施、受入先・大学関係者の参加可

本プログラムの問い合わせ先

特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪(事務局：キャリア支援担当)

住所：〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-400 大阪駅前第2ビル4階 キャンパスポート大阪

電話：06-6344-9560

メール：career★conso-osaka.jp(★を@に変えてください)

HP：https://www.consortium-osaka.gr.jp/

大学コンソーシアム大阪会員大学(40大学 2025年4月現在)

▶ 国立(2校)

大阪大学
大阪教育大学

▶ 私立(37校)

藍野大学
追手門学院大学
大阪青山大学
大阪医科薬科大学
大阪大谷大学
大阪学院大学
大阪観光大学
大阪経済大学
大阪経済法科大学
大阪工業大学

大阪国際大学
大阪産業大学
大阪樟蔭女子大学
大阪商業大学
大阪女学院大学
大阪信愛学院大学
大阪成蹊大学
大阪総合保育大学
大阪体育大学
大阪電気通信大学

大阪人間科学大学
大阪保健医療大学
大手前大学
関西大学
関西福祉科学大学
近畿大学
四條畷学園大学
四天王寺大学
摂南大学
千里金蘭大学

相愛大学
宝塚大学
帝塚山学院大学
梅花女子大学
羽衣国際大学
阪南大学
東大阪大学
桃山学院大学森
ノ宮医療大学

大学コンソーシアム大阪とは

1999年に設立された大阪府内大学学長会を前身とする大阪府内の40大学で構成されるNPO法人です。本法人は大阪府内、またその周辺の大学の相互連携を深めるとともに、地域社会・産業界・行政と協力し合い、地域社会に貢献し互いの連携を強めること、国際交流を進めることを活動の目的としています。その目的達成のために、高大連携、大学間連携、キャリア支援、国際交流、地域連携、研修等の取組を進めています。



プログラムの導入に向けて

1 実施体制の整備

本プログラムは、学生のキャリア教育と人材育成の取り組みであり、その効果を十分あげるためには、受入先における実施体制の整備が肝要です。明確な目的のもとでエントリーを検討してください。

2 受け入れに伴う経費等

- 本プログラムへのエントリー料：無料
- 実施に要する経費：受入先負担
- 実習生に対する報酬や交通費、昼食代等：受入先の任意

3 実習生の保険加入

実習生にはそれぞれの実習形態にあった「傷害保険」と「賠償責任保険」への加入を義務付けています（例：「学生教育研究災害傷害保険（賠償責任保険付帯）」、略称：学研災）。実習生の受け入れにあたり、受入先での保険加入は原則不要です。

4 実習生の誓約書提出

右記のようなトラブルが発生した場合の責任の所在を明確にするため、実習生より受入先に対し、誓約書を提出します。問題解決にあたっては、実習生個人による問題解決を基本としますが、大学コンソーシアム大阪や実習生在籍大学が仲介役となり、調整を行います。

想定されるトラブル例

- 受入先の機密や個人情報を漏洩する等の守秘義務違反を起こした
- 受入先の就業規則を遵守しなかった
- 器物破損など何らかの問題が生じた

5 事前・事後教育

派遣が決定した実習生には、実習の前後に研修を実施し、「学習」⇒「実践」⇒「振り返り」のステップを踏まえた学びの支援を行います。大学や学部、学年を越えた実習生が一堂に会し、下記のような研修に取り組みます。

研修内容（一例）

事前研修 ビジネスマナー・コミュニケーショントレーニング／リスクマネジメント・企業理解／先輩体験談／ケーススタディ・目標設定

事後研修 グループワーク・発表／受入企業講演／情報交換・交流

6 実習生の個人情報の取り扱い

本プログラムを通じて取得した実習生の個人情報の扱いは、本プログラムの実施に係る範囲に限定します。（※本法人のプログラムは、教育活動の一環として位置付けていますので、学生情報を採用選考のために利用することはできません。）

7 導入に係る詳細

大学コンソーシアム大阪のホームページをご覧ください。

就業体験型プログラム 案内・受入申込（企業・団体向け）▶

<https://www.consortium-osaka.gr.jp/career/general>



プログラム実施の流れ

1 エントリーまでに

大学コンソーシアム大阪との窓口となる担当者を決めてください。実習生受け入れに伴う事務手続きは担当者を通じて行います。

2 エントリーする

- 募集締切までに大学コンソーシアム大阪のホームページからエントリーしてください。
- 自社（団体）が行う実習における目的や到達目標等を明確にしながら、実習要項を作成します。学生がわかりやすいよう、できるだけ具体的に記載してください。
- 実習日程は、8月～9月中旬の期間で、原則、実働5日～10日間（40～80時間を目安）としてください。
- 実習内容は、就業体験[※]を含むものとしてください。単日の企業説明会やプログラムとして不適当と判断される場合、エントリーをお断りする場合があります。
※受入先が設定する課題に対し、実習生がプロジェクトとして取り組む場合等も含む。
- 一定のスキルや専門知識が問われる職種の場合等は、受け入れに係る要件を設定できます。要件によっては実習生の派遣がかなわない場合がありますので、ご了承ください。
- 提供された実習要項は、大学コンソーシアム大阪のホームページ上で公開します。



3 実習生決定～受け入れまで

- 学生の面接・選考は、企業（団体）からエントリー時に提出された実習要項の記載内容に基づき、大学コンソーシアム大阪が行います。受入先での選考は、理由の如何を問わずできませんのでご了承ください。
- 実習生の派遣が決定した受入先には、連絡先等の実習生情報を提供します。実習日程等の調整は、受入先・実習生間で個別に行います。
- 本プログラムは、学部生、大学院生、留学生等の全学生を対象としています。そのため、就職活動前の3年次以外の実習生や、実習時点では受入先企業（団体）の業界・業種への就職希望が定まっていない実習生を派遣する場合があります。また、必ずしも実習生の派遣を確約するものではありません。



4 三者協定の締結

- 実習開始にあたり、受入先、実習生在籍大学、大学コンソーシアム大阪による三者協定を締結します。

5 実習開始～終了まで

- 実習生の持参する実習日誌・評価表の確認、コメント記入をお願いします。
- 実習日誌および評価表は、最終日に実習生から回収し、大学コンソーシアム大阪へ提出してください。（実習生には、後日、在籍大学を通じて返却されます。）